



横浜での起業・経営力アップに役立つ情報レター

# NEWS LETTER

IDEC ニュースレター

IDEC  
YOKOHAMA

No.23

秋  
2017

(年4回発行)

【発行】公益財団法人横浜企業経営支援財団

〒231-0011 横浜市中区太田町 2-23  
横浜メディア・ビジネスセンター7F  
TEL.045-225-3700 FAX.045-225-3737  
<http://www.idec.or.jp>

## 横浜のIoTビジネスを中小企業で盛り上げよう ～「I<sup>o</sup>TOP横浜」が本格スタート～

I<sup>o</sup>TOP横浜(IoTオープンイノベーションパートナーズ)は、「横浜をIoT(モノのインターネット)ビジネスモデルの発信地に」を目標に、IoTビジネスを目指すプレーヤーの連携を図る場としてこの4月から活動をスタートしました。IDEC横浜は、この運営事務局を担うとともに、中小企業のIoT導入活用を重点的に支援しています。

### ■まずは課題抽出から

IoTという「世の中のビジネスが変わる、第4次産業革命だ!」と言われながらも、具体的な利活用メリットが見えない、コストがかかる等の理由で、中小企業ではその導入が進んでいないのが現状です。そこでIDEC横浜では、入門セミナーの開催、中小企業診断士や技術アドバイザーによる相談を通じ、まずは現場の課題を抽出することから始めています。抽出した課題に応じて、できる部分から無理のないIoTを提案しています。

### ■ヒントは現場にあり

この6月からはI<sup>o</sup>TOP横浜の活動の一環として“若手経営者グループによるIoT勉強会”の活動を支援しています。勉強会では、紙図面のデジタル化やICタグ活用による出荷管理、技術・技能継承の可能性、「見える化」による生産性向



セミナーでは、まずは現場の課題を考える



6月開催 キックオフイベントの様子 NTT 東日本、協立金属工業(金沢区)とのコラボ展示

上の実現性など、IoTについて様々な意見が交わされました。私たちは、こうした現場の声を今後の支援策に反映させていきたいと考えています。

### ■中小企業の皆さまへ

I<sup>o</sup>TOP横浜では、製造現場の見える化やロボット活用、スマートホームといったプロジェクトに取り組んでいきます。現在、中小企業の皆さまのプロジェクトへの参画を求めています。「オープンな場でいろいろな企業と組んで、こんな実証実験をやってみたい」といった提案も歓迎します。業種の壁を越えた「ともにIoTを目指す仲間」が横浜に集うことで、皆さまのビジネスの活性化を目指してまいります。

### お知らせ

#### 組込み/IoT総合技術展2017(ET/IoT2017)に「横浜パビリオン」を出展します!

市内の組込み・IoT関連企業15社が、先端的かつオリジナリティあふれる製品や技術、サービスをアピールします。ぜひ、「横浜パビリオン」にお越しください。

日時:11月15日(水)~17日(金)10:00~17:00  
場所:パシフィコ横浜

■ Pick Up

## ものづくりコーディネーター事業・中小企業コンシェルジュ事業では、 専門家が企業の販路開拓のお手伝いさせていただきます。

**IDEC横浜の支援を受けて、製品開発・商品化や販路開拓で売上が向上した  
ご利用者の皆さまの声をウェブサイトに掲載しています。**

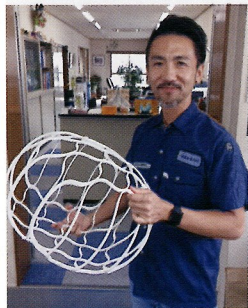
### ●産学連携で新商品を開発・販売！

アルミサッシ製造販売業のサンエス（港北区）澤幡社長は、IDEC横浜のものづくりコーディネーター事業により鹿児島大学と産学連携し、花粉や火山灰を通さない「空気清浄網戸・ハイキャッチ」を製品化することができました。また、販売にあたり、広報支援マネージャーからマスコミ発表に向けての支援も受けました。現在、同商品の初年度売上240万円達成に向けて活動を行っています。



サンエス澤幡社長

### ●販路開拓マネージャーを通して伊勢丹で販売！



落合製作所落合専務

精密板金加工業の落合製作所（都筑区）は、デザイナーと連携したものづくりを行い、販路開拓マネージャーの支援を受け伊勢丹で初めて販売を実施しました。3年前、IDEC横浜のものづくりコーディネーターと職員のヒアリング訪問を受けたのをきっかけに様々な支援を受けました。そのような中、同社が企画・製造したアルミ製アクセサリーの販売に苦慮していたところ、販路開拓マネージャーの支援により、渋谷のヒカリエでの販売イベント出展や伊勢丹本店での口座開設・販売も実現しました。同社の落合専務は、「商品の良さを引き出しブランド化、売上向上ができた。」と話しています。

### ●IDEC横浜のインキュベーション施設に入居し、 商品開発がスピードUP！

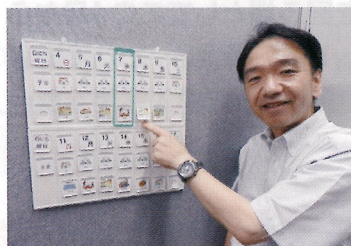
おいぬビジョン（鶴見区）は、CCDカメラを始めとするセンサーモジュールの開発設計を行っています。創業と同時にIDEC横浜のリーディングベンチャープラザに入居し、開発・製造を進めていましたが、IDEC横浜が管理法人となって開発助成金を活用したことにより、商品開発が加速。さらに、テクニカルショウヨコハマの出展が契機となり、日本テレビと共同でカメラを開発しました。今では、放送局各社や工業、産業分野で取引先が増え、売上も順調に推移しています。「創業後間もなく売上がない状況で、IDEC横浜のコーディネーターや職員のおかげで開発資金を得られたことが、当社にとって最大の課題解決でした。」と技術統括部長の小堀さんは、熱く語ってくれました。



おいぬビジョン小堀部長

### ●広報戦略を見直し、採算ラインを突破しました！

自閉症の子供向け絵カードとスケジュール表の開発・販売を行っている古林療育技術研究所（青葉区）の古林社長は2016年秋、横浜市で紹介により、販路開拓・広報戦略についてIDEC横浜に相談にいられました。当時は、製品の販売を開始してから10か月目の時期で、考えつく施策は実施していたものの、売上は60万円/月と伸び悩んでいました。そこでIDEC横浜のマネージャー陣と一緒に、製品の長所短所、ご家庭の悩みと訴求方法、販売方法、チャンネル戦略、広報戦略を総点検し、広報スケジュールを軸に重要施策を設定しました。その結果、4か月後に採算ラインである

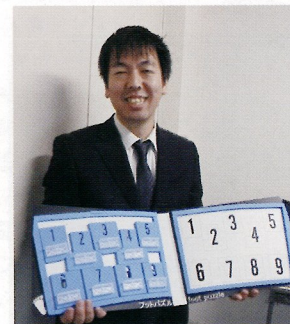


古林療育技術研究所古林社長

150万円/月を突破することができました。「今後も、事業拡大の節目でIDEC横浜のマネージャーの方々にタイムリーな助言を求めていきたいと思えます。」とさらなる飛躍を目指しています。

### ●「横浜ビジネスグランプリ」をきっかけに商品化、 販売につながりました！

コレッド（都筑区）中里社長は、健康をテーマとした製品の企画・製造・販売を行っています。お風呂用エクササイズバイク「furost」で横浜ビジネスグランプリに挑戦し、優秀賞を受賞。同社は1人で企画から販売までこなしていたため、この方向性で良いのか悩むことがあったそうです。そこでIDEC横浜の販路開拓マネージャーに継続的に相談し、商品のコンセプト・マーケティング・広報にいたるまで課題を抽出・整理し、一つひとつ対処していきました。これが功を奏してNHK「おはよう日本」等各メディアで取り上げられ、「ディノス」等ネットショップの販売網も拡大、Yahoo!ショッピングや amazon では、カテゴリー内でのランキング1位も獲得。



コレッド中里社長

店舗では東急ハンズでも取り扱われるなど、累計販売1,000台を突破し、発売初年度で1,000万円の売上を記録しました。さらに、新商品の「フットパズル」についても同様に販路開拓の相談を行い、さらなる成長を目指しています。

IDEC横浜では、様々な支援メニューを活用した企業の皆さまの声を順次、ウェブサイトで公開していきます。

■ Pick Up

## 横浜グローバルビジネス相談窓口をオープンしました

“身近な相談先”として、より気軽にご利用いただけるようになった専門家相談です。

IDEC横浜では、「ワンストップ経営相談窓口」で海外ビジネスに関する専門家相談を4月から行っています。「これから海外ビジネスをはじめたいけれど、何からスタートしたらよいか分からない」といった初歩的なご相談から、輸出入の手続きや外国企業との付き合い方、海外進出計画策定アドバイスなどの具体的なご相談まで承ります。また、ご相談内容に応じて各種支援メニューの紹介や関連機関の連絡先など、海外展開に必要な情報を提供します。

「中小企業の皆さまの中には、新規販路開拓先として海外をお考えでも、海外展開のための社内体制が十分ではなくお困りの方もいらっしゃると思います。そのよなときに

は私たち相談員がお手伝いします。」(竹田相談員) 毎週水曜日に3人の専門家が週替わりで対応します。

9:00～、10:30～  
13:30～、15:00～  
※事前予約制

ぜひご利用ください。



親身になってご対応します

海外ビジネスに関するご相談はこちら <http://www.idec.or.jp/kaigai>

問 国際ビジネス支援担当 045-225-3730

## 人と人をつなぎ、本業を通じて地域に貢献 ～横浜型地域貢献企業の太陽住建の取組から～

「当社のような小さな企業は地域に生かされて仕事をしている。気軽にお茶を飲みに来てもらえるアットホームな企業にしたい」と太陽住建の河原社長は語ります。同社は今年1月に南区井土ヶ谷に本社を移転し、「井土ヶ谷アーバンデザインセンター」の運営を始めました。このセンターは、横浜市住宅供給公社が所有する空き家を活用して、地域コミュニティの活性化・再生可能エネルギーの普及等を目的に設置されたものです。地域の人の集まる空間となる「おひさま広場」は、登録すれば誰でも利用でき、連日様々なイベントが行われています。

住宅のリフォームや防衛省住宅防音工事、太陽光発電システム販売などエネルギー事業を展開している同社の強みをいかし、センターは防災拠点としての機能も備えていま

す。建物の屋上に設置された太陽光パネルにより発電し、余った電気は蓄電池に蓄えられるため、災害時でも電力が確保されます。

河原社長によれば、地域貢献活動を通じて信用を生み、人とのつながりの中で仕事が入り、回り回って本業につながっているとのこと。地域に根ざした積極的な活動で業績アップを目的とする横浜型地域貢献企業のコンセプトを見事に体現されています。



河原社長とおひさま広場

横浜型地域貢献企業認定制度の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/keiei/csr/>

問 経営支援担当 045-225-3714

## 経営課題の上位は、人材育成・組織、販路開拓、経営戦略 ～IDEC横浜利用者アンケート2017 結果～

今年も「IDEC横浜利用者アンケート」をインターネットで実施し、796件の回答をいただきました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

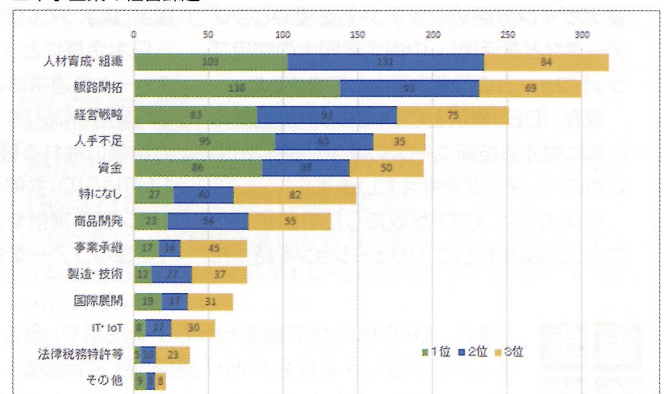
今年の特徴は、中小企業の方が挙げた経営課題の1位が「人材育成・組織」となったことです。調査開始以来4年連続で1位であった「販路開拓」と順位が入れ替わり、社内人材や組織の活用に対する課題意識が高まっていることがうかがえます。

一方、中小企業経営者のみを対象とすると、課題の第1位は昨年同様「販路開拓」となっており、IDEC横浜に対しても販路開拓支援を一番に期待している結果となりました。

アンケート結果の詳細は、ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。寄せられたご意見は、今後の事業の

改善や新しいサービスの企画に反映させていただきます。

■ 中小企業の経営課題



アンケート結果の詳細はこちら [http://www.idec.or.jp/whats\\_new/20170920070000.php](http://www.idec.or.jp/whats_new/20170920070000.php)

問 総務担当 045-225-3700

■ 各種イベントのお知らせ

2017.10~12



イベント名 / 会場	日程 / 時間
PIAメッセ2017Ⅱ「中小企業でも使えるIoT」／ 横浜市金沢産業振興センター IoTの基礎から実際の利活用イメージまで事例をもとに学びます。セミナー後には、交流会も行います。	10月13日(金) 14:30～17:30
50歳からの起業「実践講座」【全2回】／ IDEC横浜大会議室 具体的な起業プランの作成に必要な知識を講義で学び、グループワークを通じて事業計画をブラッシュアップします。(横浜市内での創業を検討されているおおむね50歳以上の方を対象)	①10月14日(土)10:00～15:00 ②10月28日(土)10:00～15:00
デザインの役割と売れるチラシデザイン!／ 都筑区役所6F大会議室 デザインの役割と売れるチラシデザインを解説するセミナーです。セミナー後には無料デザイン相談会を行います。	10月19日(木) 13:30～15:00
産学交流サロン「情報」と「産業」の融合／ IDEC横浜大会議室 ～情報の活用と融合で社会の見守り、新価値創造を～(次世代見守り研究会特別編) 現代社会でどのような情報が得られ、そしてその情報がどのように応用されているのか、また、その情報といかに付き合い利活用し、融合すべきかという視点から「見守り」の観点を含め、紹介します。	10月27日(金) 13:00～16:05
起業チャレンジセミナー／ IDEC横浜大会議室 経営者としての心構えや、創業前にどんなことを知り、調べ、考えておく必要があるのかについて解説します。	11月7日(火) 14:00～16:00
ASEANにおける日台ビジネスセミナー／ IDEC横浜大会議室 近年関心の高まっている第三国市場開拓について、日台における東南アジアの産業協力のビジネスモデルや、進出企業の事例を交えたセミナーを開催します。	12月1日(金) 14:00～16:30

その他多数のイベントを開催しています。詳細はウェブをご覧ください。

IDEC 横浜

検索

**ビジネスプラン募集!** 優勝賞金100万円を目指せ!

ビジネスプランコンテスト「横浜ビジネスグランプリ2018」のプランの募集を開始しました。(～11/13(月)17:00必着)IDEC横浜ホームページから応募書類等をダウンロードしてください。IDEC横浜は、ビジネスマッチングや資金調達等、事業の成功に向けてフォローアップを実施しています。皆さまのご応募をお待ちしています。



横浜ビジネスグランプリの詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/kigyo/ybg/>

問 経営支援担当 045-225-3714

IDEC横浜  
上海事務所レポート

**CIDI(中国工業設計研究院)とともに日中企業の連携を促進していきます**

上海事務所 副所長 岩田 健

IDEC横浜は、中国企業のイノベーション推進機関であるCIDI(中国工業設計研究院)と協力して、日中企業の連携を進めることになりました。CIDIは、中国政府の工業情報化部、上海市政府により2014年に設立され、工業デザイン分野のマッチング支援やビッグデータなどを活用し、中国企業同士の交流プラットフォームの役割を果たしてきました。

現在、IDEC横浜とCIDIでは、中国企業の日本に対する技術ニーズの高まりから、日中企業のマッチングを考えています。

具体的には、CIDIが収集した中国企業のニーズ情報をもとに、ソリューションを持つ市

内企業との協業をIDEC横浜が仲介します。例えば、上海の精密医療機器ベンチャーA社は、急速な事業拡大に伴い、金属の精密加工や部品設計の委託先を探しています。CIDIには、こうしたニーズ情報が年間20件程度、集まっています。

日本企業にとっても、中国企業、特にベンチャーとの連携は、大きなビジネスにつながる可能性があります。中国のイノベーションの現場に触れる機会として、IDEC横浜では11月にCIDI主催の中国工業設計イノベーション展の視察や、深センの新しいものづくりを探るツアーを企画しています。参加をご

希望される方は、国際ビジネス支援担当(045-225-3730)までご連絡ください。



潘靖イノベーション技術総監(左)とCIDIの李雲虎董事長(右)

上海事務所 [yokohama@idec-sh.com](mailto:yokohama@idec-sh.com)  
<http://idec.or.jp/shanghai/>

編集  
後記

最近、IDEC横浜が支援を行っている企業や、過去の横浜ビジネスグランプリで各賞を受賞された方の活躍を新聞などでたびたび目にする機会があり、大変嬉しく感じています。IDEC横浜の支援メニューや支援事例を紹介する本紙を通じ、皆さまにIDEC横浜のことをもっと活用していただければ幸いです。これからも皆さまのお役にたてるよう、職員一同努めてまいります。本紙について、ご意見、ご感想をお待ちしております。